

## 1. 診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	内 容
① 診療科名	腎臓内科
② 診療科の特徴	・名古屋中心部・年間1万台搬送の三次救急病院での腎臓内科 ・急性腎障害、体液過剰、電解質異常などの腎臓内科救急疾患が豊富 ・当院は膠原病内科・腫瘍内科・感染症内科を有しており、膠原病やがん関連腎障害、HIV関連腎症などの多様な症例を経験可能
③ 診療科のモットー	腎臓内科医として必要な知識と技術を習得し、安心・安全で質の高い腎臓内科診療を提供する
④ 診療内容・実績 (1年間)	透析導入 50件、血漿交換 50回、血液ろ過透析 100回、腎生検 30件、内シャント手術 60件、透析用カテーテル留置 50件
⑤ 診療体制 (2025年4月時点)	腎臓専門医3名（うち指導医1名）、透析専門医1名（指導医1名） 専攻医1～2名
⑥ 診療科カンファレンス	病棟患者カンファレンス（金曜） 透析患者カンファレンス（月～金曜）
⑦ 経験できる疾患	急性腎障害、慢性腎臓病、電解質異常、ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、尿細管間質疾患、うつ血性心不全、透析関連合併症
⑧ 経験できる技術・技能	中心静脈カテーテル留置術、内シャント造設術・人工血管移植術・内シャント血栓除去術・シャントPTAなどバスキュラーアクセス管理全般、腎生検、透析管理全般、血漿交換などの特殊血液浄化療法
⑨ 学会について	日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会の研修施設であり、専門医取得が可能
⑩ その他	働きやすい環境づくりに努めており、有給休暇の取得や夜勤明けの帰宅も適切に確保されています。平日夜間および土日祝日は当番制を採用しており、当番日以外に病院からの呼び出しやコールはありません。

## 2. 専門研修プログラムに準拠しない形での採用の場合

項目	内 容
① 取得可能な専門医	日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医
② その他	

## 3. 指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

腎臓内科は、病態生理に基づいた全身管理を行う「内科らしい内科」でありながら、腎生検・透析・シャント手術・PTA（経皮的血管形成術）などの手技も習得できる診療科です。

当院は、年間1万件以上の救急搬送を受け入れる三次救急病院として、急性腎障害、電解質異常、体液異常など、緊急性の高い腎疾患に日常的に対応しており、腎臓内科医としての即応力を養うことができる環境が整っています。また、膠原病、がん、感染症といった各専門内科との密な連携により、膠原病性腎症、がん関連腎症、HIV関連腎症など、希少かつ複雑な症例も豊富に経験できます。

腎臓内科のもう一つの魅力は、将来の選択肢が非常に多いことです。大学病院や総合病院での専門診療に加え、内科クリニックの開業や透析クリニックでの常勤・非常勤勤務など、将来のビジョンやライフスタイルに応じた柔軟な働き方が可能です。

腎疾患に興味のある先生、思考力と手技力を兼ね備えた内科医を目指したい先生、あるいはまだ自分の適性を模索している先生も、ぜひ当院腎臓内科での研修をご検討ください。